

編集後記

科学的根拠に基づいた肝臓診療ガイドライン 2005 年版を取りまとめた時、化学療法で推奨できる薬剤が 1 つもないことに改めて驚いた。「化学療法で有効な薬剤は何か?」というリサーチクエスチョンに対する推奨は「肝細胞癌化学療法に科学的根拠に基づいて推奨される有効な薬剤やその組み合わせはない」と明記されており、2007 年 6 月までの文献を網羅的に検索して改訂した 2009 年版でも一字一句違わぬ推奨となった。つまり、進行肝細胞癌に対してプラセボ対照に対する優越性をランダム化比較試験で示した薬剤が 1 つもなかったのである。

そして、すべてを変えたのが分子標的薬ソラフェニブの登場であった。2008 年に New England Journal of Medicine に発表された SHARP study では、世界のアジア以外の 9 か国で 600 人を超す切除不能進行肝臓症例に対して、ソラフェニブ対プラセボ対照のランダム化比較試験が行われ、平均生存期間を 7.9 か月から 10.7 か月に延ばすことが示された。たった 2.8 か月の生存期間の延長ではあったが、統計学的に有意であり、大げさな表現かもしれないが「人類にとって大きな一歩」の前進であった。ほぼ同時にアジア(台湾、韓国、中国)で行われたいわゆる Asian-Pacific study でも同様に有意な生存期間の延長が示され、ソラフェニブの有用性はゆるぎのないものとなった。わが国でランダム化比較試験は行われていないが、2 つのレベル 1 のエビデンスに基づいて 2009 年から保険収載され、爆発的に多くの患者さんにソラフェニブが処方されている。わが国ですでに 1 万人を超える患者にソラフェニブが処方されているようである。

分子標的薬の効果判定は従来の腫瘍縮小効果では十分に評価できないことが知られており、それを補うために modified RECIST や改訂 RECIST が応用されている。本号特集ではその詳細な解説や各種画像診断による効果判定法の実際について提示されているので日常臨床の参考にしていただければ幸いである。

最後に外科医のつぶやきを少々。肝細胞癌の肝切除に必要な 1 例あたりの医療費よりも分子標的薬治療 1 例の医療費のほうが大きいというのは何とも納得がいかない。わが国の手術手技料はまだまだ安すぎると思う。

(國土典宏)

編集顧問

編集幹事

編集委員

有山 襄	竹原 靖明	望月 福治
二村 雄次		
角谷 眞澄	神澤 輝実	工藤 正俊
國土 典宏	棚野 正人	真口 宏介
山雄 健次		
朝倉 徹	跡見 裕	猪狩 功遺
石川 洋子	市川 智章	伊東 克能
乾 和郎	今井 裕	植木 敏晴
太田 哲生	岡崎 和一	梶原 建熙
兼松 雅之	川崎 誠治	蒲田 敏文
鬼島 宏	木下 壽文	木村 理
熊田 卓	小井戸一光	坂元 亨宇
佐々木 洋	下瀬川 徹	須山 正文
高安 賢一	高山 忠利	竹内 和男
武田 和憲	田中 雅夫	土井隆一郎
長川 達哉	信川 文誠	長谷部 修
廣橋 伸治	本田 浩	眞栄城兼清
前谷 容	松井 修	村上 卓道
森 宣	森安 史典	柳澤 昭夫
山下 康行	山野 三紀	竜 崇正
渡辺 五朗		(五十音順)

掲載広告索引

(五十音順)

● (株)アミン	表 4
エーザイ(株)	表 2
オリンパスメディカルシステムズ(株)	580
第一三共(株)	576
大日本住友製薬(株)	573
東芝メディカルシステムズ(株)	表 3
日本化薬(株)	586
ボストン・サイエンティフィックジャパン(株)	574

肝胆膵画像(第 13 巻第 6 号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 本誌編集室直通 (03)3817-5714 (担当)藤田・能藤

FAX (03)3815-7802・3815-7982

E-mail: gazo@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kantansui/

2011 年 9 月 15 日発行(隔月 15 日発行)

定価 3,990 円(本体 3,800 円+税 5%)

2011 年年間購読料(送料弊社負担、税込み、増刊号を含む 7 冊)

冊子のみ 27,600 円 冊子+電子版 35,900 円

電子版/個人 27,600 円 電子版/共有 31,740 円

☎ 販売部直通 (03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 (株)アイワード ☎(011)241-9341(代)

広告取扱 (株)文京メディカル ☎(03)3817-8036(代)

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. ©2011, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有いたします。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ☎ JCOPY <(株)出版者著作権管理機構 委託出版物>
- 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。